

Contents — 【目次】

- 02 年頭のごあいさつ
- 04 全国中学駅伝 猪苗代中男子
- 06 第23回母から子への手紙コンテスト
- 07 まちのわだい
- 08 いなわしろタウンページ
- 14 猪苗代町農業委員会だより第1号
- 16 暮らしの情報広場
- 18 みんなの美術館／食生活改善推進員コーナー

【今月の表紙】



年末のシルバー人材センターの恒例行事、しめ縄作りにいそむ佐藤正己さん(右=小平湯)と秦幸子さん(左=新在家)。佐藤さんはしめ縄作り約30年の熟練者。「新しい年が良い1年になるように」と願いを込めながら、会員さんたちが2人1組で縄をないます。

【撮影日】 12月11日
 【撮影場所】 町地域福祉交流センター



マチを好きになるアプリ



ios用 Android用



選手と監督



1区 星椋斗

全国中学駅伝 猪苗代中男子 みんなで勝ち取った 全国5位

第32回全国中学校駅伝大会は12月15日、滋賀県野洲市にある希望が丘文化公園(男子6区間18キ、女子5区間12キ)で開かれました。都道府県代表の男女各48チーム(猪苗代中の男子は、58分14秒で5位入賞を果たしました)。

レースは、1区星椋斗選手が区間4位の好走。2区山崎智也選手は10位、3区鈴木愛翔選手は12位と後退しましたが、2人とも粘りのある走りを見せました。4区吉野優大選手は8位、5区古川咲音選手は6位まで順位を押し上げ、アンカーの渡部湧斗選手は区間2位の素晴らしい走りでも順位を一つ上げて、5位でフィニッシュ。

選手や監督、保護者だけでなく応援してくれた全ての人たちが勝ち取った全国5位。選手たちは、みんなの思いに応えようと全国の舞台で全力を出し切りました。



応援に駆け付けた町民の皆さん

選手成績・一言

▶1区(3キ) 星椋斗(3年) 9分14秒④4「初めての駅伝も今回も1区4位だった。全国大会で良い思い出ができた」▶2区(3キ) 山崎智也(3年) 9分50秒⑩10「途中で1位に立ったけど、抜かれて悔しい」▶3区(3キ) 鈴木愛翔(3年) 9分57秒⑫12「全国の舞台で走れてとても楽しかった」▶4区(3キ) 吉野優大(3年) 9分43秒⑧8「このメンバーと先生と最後のレースを走れて良かった」▶5区(3キ) 古川咲音(3年) 10分6秒⑦6「皆には迷惑をかけたけど、最後に大舞台上で走れて楽しかった」▶6区(3キ) 渡部湧斗(3年) 9分24秒②5「1位でゴールできなかったけど、このメンバーで全国大会を走れて楽しかった」
 ※丸数字は区間順位。その後の数字は通算順位



5区 古川咲音



4区 吉野優大



6区 渡部湧斗



3区 鈴木愛翔



2区 山崎智也